

## 平成27年 第7回真室川町教育委員会 会議録

平成27年11月18日(水)午後0時30分より、真室川町中央公民館青年の部屋において平成27年第7回真室川町教育委員会を開催した。

1. 出席委員  
委員長 土田 稔  
委員 遠田 且子  
委員 沓澤 力  
委員 井上 夏来  
教育長 新田 隆治
2. 事務局出席者  
教育課長 八鍬 重一  
指導主幹 内和 通  
総務管理・学校教育担当  
課長補佐 佐藤 洋子  
生涯学習・スポーツ担当  
課長補佐 庄司 利彦  
子育て支援担当  
主 査 奥山 早苗

### 3. 会議案件

- 日程第1 前回会議録の承認について
- 日程第2 教育長事務報告について
- 日程第3 報 告
- 日程第4 議案第48号  
平成27年度教育予算補正案の原案について
- 日程第5 協議  
(1) 第5次総合計画前期計画の進捗状況結果について  
(2) その他
- 日程第6 その他
- 日程第7 閉会

### 4. 会議の経過

土田委員長 本日の出席委員は5名です。定足数に達しておりますので、ただいまより平成27年第7回真室川町教育委員会を開催いたします。本日の案件は、日程第1から日程第7までとなっております。次第に従いまして、順次進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、日程第1「前回会議録の承認について」を議題といたします。事前に資料が配付されておりましたが、何か訂正等ございませんか。

一同 ありません。

土田委員長 無いようですので、日程第1「前回会議録の承認について」を承認することに異議ありませんか。

- 一同                   ありません。
- 土田委員長           異議なしということですので、日程第1「前回会議録の承認について」は承認されました。続きまして、日程第2「教育長事務報告について」を議題といたします。事務局よりお願いします。
- 佐藤補佐           (総務管理・学校教育担当の事務報告及び予定を一括で説明)
- 奥山主査           (子育て支援担当の事務報告及び予定を一括で説明)
- 庄司補佐           (生涯学習・スポーツ担当の事務報告及び予定を一括で説明)
- 土田委員長           ただいまの教育長事務報告について、説明がありましたが、質問等ございますか。
- 遠田委員           地域力フォーラムで参加者が話し合った内容が活かされる場面はありますか。
- 庄司補佐           現在のところ、参加した大学生が資料として活用しています。教育課では、内容をまとめたうえで内部の資料として参考にします。
- 土田委員長           関連して、まとめた資料はどこに保管されるのですか。
- 庄司補佐           現在は教育課に原本があり、東北芸術工科大学には資料の写真があります。今後、資料の内容を教育課でまとめていきます。
- 土田委員長           他に何かありますか。
- 教育長から何かありますか。
- 教育長               11月10日の学校長意見交換会の後に、教育長会議の件を受けて重要な事項を校長に伝達しましたので報告します。
- 県教育委員会の喫緊の課題として、学力向上があり、指導課に対して結果にこだわるように指示しているということです。
- また、学力低下について担任の教諭が危機意識を持っていないのではないかとこの疑念があります。
- 研究授業で訪問した際に、従来の授業と変わっていない、または普通の授業とは異なる授業を行っている様子が見受けられるため、普通の授業を改善していく必要があります。
- 今後は、校内のみの研究授業であっても、教育事務所指導課指導主事が訪問する予定です。
- いじめ防止に関しては、悩みや不安を聞くために、生徒の心理的に不安な状況を見抜くことを心がけてほしいということです。
- 不祥事については、県内でもさまざまな事例があったため、生徒とメールやライン等で不適切なやりとりをしている事例が見られるため、適切な距離を保ち、必要以上に接近しないという意識が重要です。
- 学力向上対策は、町のアクションプランについて今回資料を用意しておりますが、各校にも話をしています。各校の取り組みには温度差が見受けられます。今後は、現実的にどのように取り組んでいくかを教育委員会として各校と検討する必要があると思われまます。
- また、各市町村で全体研修会を行う際に、教育事務所による指導力向上研修会が行われる予定です。全体研修会でできない場合は、各校での研修の際に行うという方針であり、必ず事務所による研修会が実施される予定です。
- さらに、県教育委員会が県内全市町村教育委員会を訪問し、ヒアリングを実施します。教育次長と義務教育課長が来年2月まで巡回する予定であり、初めての取り組みとなります。

今年の沖縄交流は、1/10 から 1/13 までの間に子どもたちが沖縄中部地域より来訪します。今回は戸沢小学校で受入れしますが、神室少年自然の家に一泊します。その際に、学校の給食ではシークワサージュースが沖縄の特産品として提供されます。

先日、地区教育長研修として福島県大玉村の幼稚園と小学校を見学してきました。大玉村はコミュニティスクールの先進地であり、来年度中に新庄市でも取り組みたいという意欲があるようです。

真室川町でも統合以来、炭焼きや番楽、読み聞かせ等で地域の方々にご協力いただき、内容としてはコミュニティスクールと同様の取り組みをしています。

大玉村では、地域の方が読み聞かせ、環境整備や授業ボランティアの協力をしていましたし、学校支援地域本部コーディネーターが専門職として配置されていました。

事務報告は以上です。

土田委員長

何か質問はありますか。

無いようですので、日程第2は終了します。

続いて、日程第3報告に移ります。

教育課長

11月10日に行った意見交換会について、感想・意見を頂戴したいと思います。また、平成28年度の学校訪問及び意見交換会の方向性についても意見ををお願いします。

土田委員長

校長・教頭・教務主任との意見交換会について、みなさんより一言ずつ感想、意見等をお願いします。

沓澤委員

各校とも文書を見ると、さまざまな取り組みが記載されていますが、子どもたちのやる気をいかに引き出すか、家庭教育にどのように取り組むかということが大切ではないかと思いました。そのような点についても意見を聞くことができれば良かったと思います。

井上委員

学校が家庭に求めるものを具体的に保護者に伝えていかなければ、伝わらないのではないかと思います。現在は、紙面上での説明で終わっているため、具体的な内容を学校と家庭で話し合っていく時間が必要だと思われる。家庭と話し合う時間を確保する手立てをとらなければ、現在の危機感家庭まで伝わらないと感じました。

遠田委員

教務主任も参加したことで、より多くの先生方の声を聞くことができた点が良かったと思います。

学校訪問では、県教育委員会の指摘でもある、授業が変わっていないということを感じる部分がありました。紙面で示すとそれぞれのことに対応していることが見て取れますが、授業については実際に見ないと分からない点が多く、見る側もどのような視点で見ると良いのか勉強する必要があると思いました。

あさひ小学校の高橋校長がおっしゃたように、基本は授業であると思います。授業の質を一層高め、子ども達が集中して学習した後、達成感の大きい学習量を期待します。

授業をしっかりと行えば、家庭での取り組みには新しいことを求めなくてもよいと思います。朝の音読や計算練習、決めた時間に学習しているか等、家庭では決めたことを実践するといったのではないかと考えます。学習の始まりと終わりは、学校で責任を持つべきことだろうと思います。

一人ひとりの細かい点については、個人面談の際に学力を取り上げて、個々に対応していくようにしないと難しいと思いました。

土田委員長

今求められている、結果にこだわることに對して、町内での足並みがそろっているのかが気になりました。

学力向上は、生活やスポ少、部活動も関係してくることであり、総合的に見て即時に改善することでないが、具体的にどう取り組んでいくのかを真剣に考える必要があると思いました。

遠田委員

共同の学びを支える学びが弱いように思います。1時間の授業内だけでなく、単元を通してどのような力を高めていくのかを考えると、優先して取り組むべき課題があると思いました。

教育課長

ありがとうございます。

次に、28年度の学校訪問及び意見交換会についてですが、間もなく学校と教育委員会の日程調整が始まるため、方向性と実施する時期を協議していただきたいと思います。

土田委員長

今年度同様に、6月に学校訪問、11月に意見交換を実施しますか。あるいは、6月に意見交換、11月に学校訪問をするという形でどうでしょうか。

一同

(賛成)

土田委員長

それでは、学校訪問と意見交換を6月と11月で1日ずつ確保してよろしいですか。

教育長、どうでしょうか。

教育長

6月は子どもたちの様子を見るため、学校訪問をする必要があると思います。また、今年度は時間が少なかったため、午前と午後に分けて2校ずつ、時間を調整するなどの対応が必要かと思います。

意見交換の際は、学校訪問と同じ内容の資料を使用し、年度当初の取り組みについて報告するという形がよいと思います。

土田委員長

学校訪問と意見交換を1日ずつ確保し、日程や内容については事務局での調整をお願いします。

その他、報告はありませんか。

一同

ありません。

土田委員長

中学校の事案についてどのようになっていますか。

教育課長

新しい状況の変化はありません。

井上委員

いじめ等の調査に関して、町内で統一して実施しているのですか。

内和主幹

本件のような事案については、他校へ広げないように考慮し、兄弟姉妹のいる学校には子どもに変わった様子がないか、特に留意するよう伝達しています。

井上委員

今回の事案は、いじめとの関連性はないですか。

内和主幹

本事案は、いじめとの関連はなく、教育委員会と学校で家庭環境の影響が強いと捉えています。

教育長

いじめ調査アンケートは実施しており、前回調査時には主幹と学校に出向き、子どもたちが記入したアンケートを全て確認してきました。

井上委員

アンケートは町内で統一されているのですか。

教育長

山形県で統一した様式です。

井上委員

新聞報道等を見ていると、聞くことと書くことでは状況把握に差が生じるように思いました。

- 内和主幹 学校ではアンケートを実施した後、一人一人に個別の面談を行っています。
- 教育長 保護者アンケートでも自分の子どもだけでなく、周りの子どもについて気づいたことがあれば記入できる欄があります。今後回数を重ねていくことにより、意見を書いていただけるようになると思います。
- 土田委員長 それでは、日程第4議案第48号に移ります。  
「平成27年度教育予算補正案の原案について」を議題とします。
- 奥山主査 (子育て支援担当の補正案について)  
佐藤補佐 (総務管理・学校教育担当の補正案について)  
庄司補佐 (生涯教育・スポーツ担当の補正案について)
- 土田委員長 質問等がありますか。  
教育長 民間保育所運営費負担金、処遇改善について、実際に保育士の賃金にどのように反映されているのですか。
- 奥山主査 増額分は、賞与に割り振って支給しています。  
教育長 1人当たりの金額の目安はありますか。  
奥山主査 その点は今後確認していきます。また、補正額の全額が処遇改善として支給されるものではありません。
- 土田委員長 新制度に移行し、当初予算の時点では決定していなかったことですか。  
奥山主査 基本分単価の想定はできたのですが、加算分の細かい計算が当初にはできませんでした。
- 土田委員長 次年度も同様に補正が必要となりますか。  
奥山主査 次年度からは加算項目が決まっているので、人数での差額のみ生じることとなります。
- 土田委員長 他に質問はありますか。  
一同 ありません。
- 土田委員長 社会教育指導員の雇用形態についてお聞きします。民間は労働契約法の改正により平成25年4月1日より通算5年勤務した人は、申し出により無期限の雇用に変換できるというルールになりました。社会教育指導員については、どのような取扱いになっていますか。
- 教育課長 公務は適用外です。町としては労働契約法に沿うことを原則としていますが、5年を超えて雇用する特別な事由がある場合は例外とされております。
- 土田委員長 分かりました。  
その他、ありませんか。  
なければ、平成27年度教育予算補正案の原案を承認することに異議ありませんか。
- 一同 (異議なし)
- 土田委員長 異議ないため、議案第48号は承認されました。  
続きまして、日程第5協議に移ります。  
「第5次総合計画前期計画の進捗状況結果について」を議題とします。
- 教育課長 総合戦略の策定が終わり、後期計画策定の作業に移っております。具体的には、12月の委員会の際に後期計画案並びに教育大綱案を示します。後期計画は基本的に前期計画の改訂作業となるため、本日は前期計画の進捗状況結果について意見をいただきたいと思います。
- 土田委員長 前期計画の進捗状況、数値目標や改善策等について、質問・意見等はご

ございますか。

沓澤委員  
奥山主査

母子保健とは、どのような内容ですか。

予防接種、町単独としては5歳児健診、あそびの広場での保健師との連携等、妊娠・出産・子育てという長いスパンで関わりを持ちながら、実施する事業です。

土田委員長  
遠田委員  
奥山主査

他にありませんか。

住民組織の子育て支援体制とはどのようなことですか。

住民の方の任意による「あんよ」という団体があり、そちらも住民組織に入ります。その他には、子育てサークル、今後は小さい子どもからお年寄りまでのつながりを含めて地域と連携し、子育てを支援できる体制を整えることを目指しています。

土田委員長  
遠田委員

その他、質問等ありませんか。

食育について、住民の生涯を通して食育の事業が実施されるとよいかと思います。

医療に頼らない健康づくりについては、福祉課との連携を考えてくださるといいと思います。

教育課長

補足で説明いたします。

総合計画では、一つのテーマに対して複数の課が連携しております。

今回は、教育に関連する内容についてご意見をいただきたいと思えます。

遠田委員  
教育課長  
遠田委員

町民には、複数の課に関わることで、まとまった形で示されますか。

まとめた形でお示しします。

今年度も地域について考えるさまざまな事業があったようですが、情報が錯綜しており、全体が分かりにくいという声がありました。一つのテーマに対しての事業をまとめて示していただけると、町民にとって見えやすいと思えます。

教育課長

ご意見をいただいたように事業を整理しながら、進めていく必要があると思われます。

土田委員長  
井上委員

その他、よろしいですか。

学力向上に関して、生活リズムの改善が関連してくると思えます。スポ少の加入率が約50%ということですが、徐々に減少しているという傾向から、スポーツを推進する立場としてスポ少の加入を推進するのはよいと思えます。ただ、スポ少と生活リズムの関連はあり、スポ少がある日は10時くらいに就寝するという話を聞きました。ゲームやメディアだけではなく、習い事やスポ少も含めて生活リズムの見直しを家庭に呼びかけてはどうかと思えます。

教育課長

ご指摘のあった点については前年度から委員会でも話題となっております。委員会としてもスポ少の充実と学力の向上は、関連する課題と捉えております。

適切な生活リズムの確立のため、スポ少の活動には小学校は20時、中学校は20時30分までを限度として施設の使用を許可しております。各スポ少団体へ教育長名での通知もしており、地域と一体となった生活リズムの確立に取り組んでいます。現在の取り組みを反映して、後期計画では表現を修正する予定です。

教育長

平日の夜間だけではなく、休日や遠征等も関連してくることで、保護

者の交流の場となっている一面もあるため、スポ少指導の体制等にも課題があると思われま

沓澤委員  
教育課長  
土田委員長  
遠田委員

現在の活動頻度はどのくらいですか。

団体によりますが、週2回程度です。

その他、何かございますか。

学校教育の充実の施策の方向について、「子ども同士信頼し合う」との記載があり、重要なことと思います。いじめなど、人と人との関わりのなかで問題になっていることが増えており、人との関わりに関してより重点を置いてもよいかと思います。具体的には、「自尊感情を持つ」「相手との違いを認める」「課題を解決する」など、社会的な力を高めることに結びつくような呼びかけがあつてよいかと思います。

生涯学習について、生涯学習に取り組んでいる人または取り組んでいても自覚できていない人が多いと、以前話題になりました。生涯学習の拠り所となる場所は、公民館、もしかしたら図書館ではないかと思ひます。そこで、図書館の機能を高めることは可能だと思われま

さらに、自覚していない人が多いことに対しては、町民が馴染みやすい言葉で呼びかけたり、啓発活動をし

資料館の利用者が増加していることについて、取り組みの効果であるという記載があります。図書館についても、本を置いて人を待つだけでなく、職員以外でも周りに呼びかけて協力してもら

芸術文化団体が高齢化により減少しているという現状については、実感していますが、今年の婦人芸能祭を見ると、代替わりしている印象を受けました。代替わりをしている団体の状況を聞き取り、他の団体に情報提供する、新しい団体が作られるような動きがあれば推進するよう手助けするなどの働きかけによって活性化されると思ひます。

庄司補佐

定住自立圏のなかで、移動図書館について協議しています。協議のなかで話題になったことですが、新庄市立図書館の貸出カードを作成している真室川町民は1,422名おり、昨年度は8,300冊程度貸出されているそうです。町公民館の図書室の貸出は1,600冊程度です。

市立図書館での利用は、新庄市を除く最上7町村では最も利用が多く、児童生徒の保護者の利用も多いよう

遠田委員

「入りやすい、使いやすい、本を選びやすい」ということが重要なよう

「町民と協働の町づくり」は、町の今後のことを心配している町民の多くが望んでいること

役場に頼りきらず、自分たちで動かなければという意識も高まるはずで  
す。

沓澤委員 「協働の町づくり」に関連して、地域で側溝の整備をしたり、公民館の  
修繕をしたりするときに、補助金は出しているのですか。

教育長 地域づくり活動支援事業費として5万円、側溝整備等には現物支給して  
います。

沓澤委員 分かりました。

土田委員長 数値目標について、学校教育関係の平成27年度最新データを掲載した  
ほうがよいと思いますし、まざれやの利用状況が分からないため、記載し  
て欲しいと思います。

また、高齢化による利用者の減少はどの市町村でも起きていることで  
す。多様なニーズを細かく汲み取りながら、対応していかなければ、利用  
者の増加は難しいと思われま。

生涯スポーツは、地域総合スポーツクラブの活性化も含めて取り組み  
が必要だと思います。さらに総合戦略で交流人口を増やすとされていま  
したが、町民を巻き込みながら取り組む必要があると思います。

「協働の町づくり」について、真室川町は各種委員にも女性がいるため、  
国の目標である30%に近い数字だと思います。生涯学習推進計画では男  
女共同参画に関する基本計画とアクションプランを策定することを記載  
しているため、後期計画にも同様の内容を入れていただきたいと思いま  
す。

最後に町の情報をより活発に発信していかなければならないと思いま  
す。町のホームページを活用して分かりやすい情報発信をするなど、方法  
の検討も必要のように思います。

遠田委員 ホームページについて、最新の情報が見えにくいと感じています。

井上委員 町民のニーズを収集しやすいようなホームページにしてほしいと思  
います。

遠田委員 どこに、どのような情報があるのか、大変見にくい作りになっています。  
井上委員 行政の情報は分かりますが、民間団体の動きや町で活躍している人な  
どが分かりにくいと思います。

土田委員長 他には、質問・意見等ありませんか。

無いようですので、第5次総合計画前期計画の進捗状況結果については  
終了します。

続いて、指導主幹より資料の説明をお願いします。

内和主幹 (資料に基づき町学力向上アクションプランの説明)

教育課長 今後、校長会でも案を提示し、12月の委員会で最終案を示します。

土田委員長 日程第5「その他」について、何かありますか。

教育課長 事務局からはありません。

土田委員長 日程第6「その他」について、何かありますか。

教育長 来週中に学校長ヒアリングを行います。事務所長とのヒアリングは12  
月中旬に予定されています。

先ほど申し上げたとおり、学校の目標に応じた配置となるよう取り組ん  
でいきたいと思っています。

土田委員長 委員のみなさんから、その他ありますか。

無いようですので、日程6「その他」は以上とします。



これもちまして、平成27年度第7回真室川町教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。